

1. 文武不岐をつねに心掛けるべし

学業と野球は別物ではない。学校生活を全うしてこそ、野球ができる。

2. 礼儀正しくすべし

感謝の気持ちを忘れずに、心のこもった挨拶・返事を心掛けよう。そして、素直に聞く耳を持とう。

3. 志気なきものはグラウンドに入るべからず

意欲・覇気のない選手はグラウンドに立つ資格無し。主体性を重んじ、目的を持った練習をしよう。

モットーは、「本気で強気に、笑顔・感謝の気持ちを忘れずに、そして、多くの人に感動を」

<具体的に>

1. 文武不岐をつねに心掛けるべし

○授業は心の鍛錬の場と考えよう。プレッシャーのかかる場面で結果を出すのは強い精神力だ。

・苦手教科・科目でもがんばろう。体育に一生懸命取り組もう。試験は諦めず最後まで考えよう。

○身だしなみを整えよう。

・制服・ユニホームの着こなしてチームの強さがわかる。服装・頭髮の規則を守ろう。

○基本的生活習慣を確立しよう。

・時間厳守は信頼関係を築く第一歩。遅刻をしない。提出物を忘れない。

○誇りと自覚を持とう。

・野球部員であることに誇りを持てる生活をしよう。

2. 礼儀正しくすべし

○挨拶を心掛けよう。

・できれば立ち止まり、帽子を取って。グラウンドへの訪問者・保護者・部長監督が挨拶をした人・先生や来校者等への挨拶を怠らずにしよう。挨拶は相手に伝わって初めて成り立つ。TP0を考えよう。

○返事をしよう。

・グラウンドは広いので大きな声と動作で返事をしよう。

○素直な心を持とう。

・わかっていると思っても、指導や助言に素直に耳を傾けよう。注意されたことで100の内1でも該当することがあれば素直に謝ろう。

○感謝の気持ちを持とう。

・野球は一人ではできない。自分だけでなく、保護者をはじめ多くの人に助けられ野球ができている。協力してくれる人に「ありがとう」の気持ちを持とう。

3. 志気なきものはグラウンドに入るべからず

○グラウンドは心の鏡である。

・グラウンド・用具を大切にしよう。部室・トイレはきれいにしよう。

○グラウンド内は走ろう。

・グラウンドに立つ以上、練習・試合ともに全力でプレーしよう。やる気のない者はグラウンドに立つ資格はない。

○全員がキャプテンだと思おう。

・チーム全体の流れ・ムードを考えよう。他人任せにせずに自分がやろう。

○毎日が本番だと思おう。

・大会前だけでなく毎日の練習の積み重ねが結果を出す。毎日が本番だと思って練習しよう。

○闘争心を持とう。

・気持ちで負けない。闘争心を持とう。ただし、相手を野次らず、相手の好プレーには拍手を送ろう。

○野心を持とう。

・「勝ちたい」ではなく「勝つ」。希望・願望でなく、強い野心を持とう。

○我慢をしよう。

・ストイックになろう。学業が本分だ。野球、遊び、彼女等全てを得ることはできない。勝つためには我慢と犠牲が必要だ。

○気配り・目配りをしよう。

・広い視野を持とう。後輩は先輩・目上の人を敬う。先輩は後輩に教え、叱り、模範となる練習態度・授業態度を示そう。

○言い訳・悪口・陰口は言わない。

・言い訳・悪口・陰口はチームの和を乱す。何か言いたいことがあれば面と向かって話そう。マイナスな言葉は成長を妨げる。

○自分は謙虚さを持ち、他者は肯定しよう。

・自己中心にならず、他人の自分とは違う考えや行動を認めよう。謙虚な姿勢が自分を高めてくれる。

4. その他

○報・連・相・確

・怪我や破損等何かあったら必ず報告する。

・連絡漏れのないようにする。

・わからないことは相談する。自分勝手な判断はしない。

・確認ほど大事なものは無い。思い込みほど恐ろしいものは無い。